

5月の都内経済状況







営業開発部

項目	天気図	コメント	
現在の景気動向		5月の都内の景気は緩やかに回復しているが、弱い動きも散見される。百貨店・スーパーの売上は前年を下回り、コンビニエンスストアの売上は増加幅が縮小した。乗用車販売は再び前年を下回った。住宅着工は4ヵ月連続で増加したが、公共投資は5ヵ月ぶりに減少した。輸出は7ヵ月連続で前年を下回った。有効求人倍率は8ヵ月連続で上昇した。工業生産(4月)は2ヵ月連続で前月から増加した。28年度上期の設備投資は増加見込みだが、経常損益は減益見込みとなっている。	
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は弱い動きも散見されるが、引き続き緩やかな回復が期待される。中国など新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。	
個人消費	百貨店売上高		百貨店売上高は、前年同月比▲5.0%と3ヵ月連続で前年を下回り、減少幅も前月から2.4ポイント拡大した(既存店ベース)。土曜日が1日少ない影響もあって、衣料品、食料品、身のまわり品、家庭用品がいずれも前年を下回った。訪日外国人客の購買などにより化粧品は増勢を維持したが、訪日外国人の買い物傾向は時計などの高額品から化粧品などの消耗品へとシフトしており、購買単価が下落している。
	スーパー売上高		スーパーの売上高は、前年同月比▲0.9%と2ヵ月ぶりに前年を下回った(既存店ベース)。土曜日が1日少なかった影響に加え、気温が前年ほど上がらなかったために、季節商品の動きが鈍かった。
	コンビニ売上(関東)		関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比1.8%増と39ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から1.8ポイント縮小した(全店ベース)。
	乗用車登録台数		前月に10ヵ月ぶりに前年を上回った乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比▲1.9%と再び減少に転じた。車種別では、軽乗用車(同▲27.5%)は17ヵ月連続で前年を下回り、下落幅も2ヵ月連続で前月から拡大したが、普通車(同4.8%増)と小型車(同2.1%増)は2ヵ月連続で前年を上回った。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比22.9%増と4ヵ月連続で前年を上回った。利用関係別でも、持家(同11.9%増)、分譲一戸建て(同21.1%増)、分譲マンション(同9.6%増)、貸家(同38.1%増)がいずれも前年を上回った。	
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比▲36.3%と5ヵ月ぶりに前年を下回った。発注者別では、国(同38.9%増)、市区町村(同119.1%増)、地方公社(同4.4%増)は増加したが、独立行政法人(同▲74.2%)、東京都(同▲38.0%)が減少した。	
貿易(東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比▲11.5%と7ヵ月連続で前年を下回り、下落幅も前月から2.8ポイント拡大した。主要地域別でも、アメリカ向け(同▲15.4%)、EU向け(同▲10.7%)、中国向け(同▲15.2%)、アジアNIEs向け(同▲9.3%)、ASEAN向け(同▲10.6%)がいずれも減少した。	
設備投資(法人企業)		東京財務事務所「法人企業景気予測調査(4~6月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の28年度上期の設備投資計画額は、全産業が前年同期比18.2%増、製造業が同30.4%増、非製造業が同11.8%増と、いずれも増加見込みとなっている。	
企業収益(法人企業)		同上調査によると、都内の法人企業(同上)の28年度上期の経常損益は、全産業が前年同期比▲12.0%、製造業が同▲27.3%、非製造業が同▲3.1%と、いずれも減益見込みとなっている。	
労働需給		有効求人倍率(季調値)は2.03倍と、前月から0.01ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は8ヵ月連続。先行指標とされる新規求人数は前年同月比17.1%増と10ヵ月連続で前年を上回った。南関東の完全失業率は3.3%で、前月と同水準だった。	
企業倒産		前月に7ヵ月ぶりに前年を下回った企業倒産件数は、前年同月比1.6%増と再び前年を上回った。負債総額も同59.3%増と2ヵ月ぶりに増加した。1~5月累計の倒産件数を業種別にみると、全体が前年同期比0.6%増で、小売業(同39.0%増)、飲食店・宿泊業(同18.9%増)、不動産業(同14.3%増)などが増加し、卸売業(同▲4.6%)、サービス業(同▲9.1%)、情報通信業(同▲1.2%)、建設業(同▲7.2%)、製造業(同▲27.1%)などが減少した。	
資金需要(銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比3.4%増と57ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.3ポイント縮小した。	

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一〇メモ) 東京都春季賃上げ妥結状況 東京都が発表した都内民間488労組の2016年春季賃上げ平均妥結額は、5,664円であった(6月30日現在・最終集計)。これは平均賃金(39.2歳、318,572円)の1.78%に相当し、同一労組の前年妥結額(6,327円)との比較では、金額で663円、率では10.48%下回った。
2月 93.9 (▲2.6)	2月 108.8 (9.6)	3月 102.0 (▲0.1)	
3月 96.6 (▲0.6)	3月 120.9 (6.8)	4月 102.0 (▲0.4)	
4月 98.1 (▲6.6)	4月 107.3 (0.9)	5月 102.0 (▲0.5)	

*工業生産指数・在庫指数、消費者物価指数は2010年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨